

対談者

美浜町 町長

齋藤 宏一様

半田青年会議所 理事長

曾根 香奈子



## 自然なくして人はなし

### 心なくして幸せはなし

曾根香奈子（以下曾根）大変お忙しい中だと思ふのですけれど、このような時間をいただきましてありがとうございます。

美浜町長齋藤 宏一様（以下町長） いえいえ、こちらこそ。

曾根 町長のプロフィールと掲げているものに対して、「活力ある町づくりとは」ということでいつも皆様にお聞きしています。人口自体はちよつと減少している現状があると思ひます。ただ、女性は多く、世帯数が約八千で、女性が一人超えをしているという事は調べさせていただきますました。

「美しい町・やさしい心・ふるさと美浜」というものを掲げている、その中に「心」という言葉があります。私は今年半田青年会議所のスローガンをこの一年掲げています、その中に「心に華を」というスローガンの下にやらせていただいています。私自身が「すべては自分次

第である」という考え方の下に、JC活動も日々の生活も仕事もさせていたたいております。自分の好きな言葉で「置かれた場所で咲き誇る」というものがありまして、一人ひとりが華やかに咲き誇るようにという想いから「心に華を」というスローガンにしています。そこで、同じ言葉として「心」を使われていることの理由を教えてくださいたいと思ひました。それでは、町長が考える美浜町のことからも含めて「活力ある町づくりとは」という題目でお話を聞かせていただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。

町長 なるほど、私の一番の理念、すべての理念は「自然との共生+心」なのです。その中で、美浜町の町づくりのスローガンは「美しい町、やさしい心、ふるさと美浜」で、これが当初からの私の作りたい町の姿です。私は太極拳をやっている、先生がすごい方でした。楊名時さんと言つて、中国の方なのです。太極拳は中国から生まれて、日本へ渡つてきて、色んな流派があります。ところが楊名時先生は、太極拳には哲学があると言ひます。その哲学の基は何なのか。それは中国の道教の祖である老子、それから儒教の孔子、仏教の釈迦の三人の教え。それを基本にした自分なりの考えの哲学を持つていた、それが私の目指す楊名時太極拳の心だと自分たちに稽古しながら、話をしてくれました。私ももともとその考え方が好きだったので、私ももともと思ひました。

日本という「禅」の考え方にも通じるところがありますので、禅をもっと勉強しないとこの意味が分からないと思ひました。そこで、あらゆる禅の本を古本屋でもう一回買い集めて読み、「禅とは何なのか」「老子の教えとは何なのか」「孔子が教えたかったことは何なのか」「釈迦



の教えたかったことは何なのか」それを  
ずつと調べてきたら、一番基本にあるも  
のが「自然との共生」ということだと感  
じました。

「自然と人間と一体になること」だと  
「天地人一如」と書くでしょう。天地人  
一体となることが禅の基本だと。そうい  
う風になるためにはどういう修行をした  
らいいのか、何を修行したときにそうい  
うことが分かりますか、悟ることができ  
ると思いますか。日本でいえば弘法大師、  
仏教をやられた方々はなぜ自然と一体と  
なって、なぜ山で修行したのでしょうか。  
それから彼らは、お経を読むときに長い  
呼吸法を使います。同様に、太極拳も呼  
吸法、つまり長い呼吸と合わせながら無  
心になって演武するのです。そこに禅と  
共通したものが得ることができると思い  
ます。今の太極拳協会なんかは六十万人、  
七十万人いると言われているのですが、  
私がたまたま東京の本部で理事をさせて  
頂いて、その中で「医療・運動研究委員  
会」がありました。そこで、楊名時太極  
拳が医療効果的に、それから何が一番い  
いのかを実際にやっている人達からアン  
ケートを取りました。それで六万人のア

ンケートを取った中で一番出てきた意見  
が「呼吸が長くなった」というものです。  
八割以上の人は健康になってきました。  
人との交わりがうまくなかった人達が、  
非常に交わるようになってきました。  
そういうデータがはつきりと出たもので  
すから、思った通りのデータが出たと思  
いました。呼吸法を使うことが健康にも  
良いし、非常に前向きになれるというこ  
とが、アンケート結果から導き出されま  
した。それこそこれからの日本に「心」  
をもっともつと広めることであると思っ  
たのです。

その「心」を養うのは、言ってみれば  
自然の、今までの先人たちの教えであり、  
原点をしっかりと自分で勉強しながら、修  
行することでありつます。つまり呼吸だと  
かスポーツだとか、初めて自分のものにな  
って分かります。ですから体感せずに  
口でどんなこと言っても駄目だと思いま  
す。

それが十二年振りにまた町長に就い  
て、全く今までの私の考えてきたことは  
間違っていないかったなという思いでいま  
す。十二年間行政から離れていて、十六  
年間町長をやっていたてまだまだ未熟だっ  
たなと思います。あの足りないものを今  
から四年間でやらないといけないなど。

曾根 素晴らしいですね。

町長 そういうことです。ですから、皆  
さん方々若い方には寝ながらできるの  
すから長い呼吸を実践していただきたい  
です。

——呼吸の実演——

これを毎日目が覚めたら三十分以上やる  
のです。そうすると、嫌でも体中の血液  
がすごく良くなります。そうすると悩み  
が消え、良い発想・正しい発想が出てく  
るようになります。

これに気付かせてくれたのが太極拳を

始めて五年目かな。五年でもう私は太極  
拳の自分なりの呼吸を始めました。です  
から、まだ周りは全然呼吸なんか知らな  
い中で、自分なりの演武の中にこの呼吸  
法を入れ始めた。そして、それを始めるよ  
うになりました。そして、それを始めた  
平成九年二月八日から呼吸法を今から毎  
日やると誓ったのです。一呼吸吐いて吸  
って四十五秒以上の呼吸を毎日三十分以  
上やると誓いました。

それで今、二十一年やってきて、元氣  
で町長をやらせていただけた。町長だけ  
じゃなく、うちの仕事もたくさんありま  
すよ。土日になればこの仕事がないと  
きは、家内一人でやっている四反分の畑  
を手伝わないといけないです。ね。  
今までは週に六日間は太極拳を岡崎・名  
古屋・常滑市・地元教えに行っていま  
した。

それを平気でやれる、自分でも考えら  
れないくらい動けます。これはその健康  
法のおかげかなと思います。ですからそ  
れを今度は自分が人体実験をやってここ



まで来たのを、町民に広めたいと考えています。

これまででも広めてきたのですけれど、それ以上にこういう立場ですからみんなにも呼びかけることもできますし、そんなことがやればありがたいなと思いついて、戦略を練っています。

**曾根** 呼吸法はすごいですね

**町長** はい、そういうことが私の今のテーマですね

**曾根** まず、四十五秒もつメンバーが誰もいないと思います。お話の中に心を鍛えるという部分がありました。私の考えで、あくまでも私の押し付けになつてしまうのですが、「頑張れ、頑張れ」と言つて自分次第で頑張つて這い上がつてきて、というところをメンバーに向けてやつてしまつているところがあります。だけれど、自分自身も忙しいこととか、時間がないことに余裕を持つことが正直今もできていないですし、JC活動をしていると「修練」という言葉があるように、泣きたくなるくらい苦しい思いをしながらやるのです。そのときに一呼吸おいて、心を鍛えようねという方向転換にしなくちゃいけないのだと、今お話を聞いていて思いました。

**町長** これがね、あらゆるスポーツの金メダルを取るような人に共通しているのです。ですから息をフーと吐くというところで、平常心に戻り、力が抜け、集中力が出ます。要は心身一体の心になるのです。それがスケートの羽生選手のジャンプの成功に繋がったり、イチロー選手のバッティングに繋がつていたりします。イチロー選手のバッティングには、全然力が入っていないでしょ。あれは呼吸がそれだけできる人じゃないと、あんな体型で打てないと思います。もうどんな球が来ようが無心の境地、力は入っていない

いので打ち返すだけ。

羽生選手も、ジャンプでクルクルと回つても何か野心がここにあつたら必ず倒れると思います。そういう面で羽生選手はすごいですね、よく準備運動のときに呼吸をやつているじゃないですか。やはりコーチが偉いなど、ちゃんと教えているなど感じが伝わってくると思います。ですから私たち凡人でも、こういった仕事していても毎朝、呼吸法をやつているときが一番「今日はどういう対応するのかな」というようなこと考えながらやつていると、天が教えてくれるというふうになるかなと思います。うちの孫達も高校や大学へ行つていて、クラブ活動をやっています。試合や大会へ出るから、「息をやれ、呼吸をやれ」と言っています。孫達はおじいちゃんのことをけつこう聞いてくれるから、結果が楽しみだなと思つて見えていますね。

実は、今までの日本の偉い人達の年齢を調べました。孔子、老子、釈迦、そして日本の弘法大師、彼らが何歳まで生きただか。彼らも必ず呼吸をやつていいるはずだと、研究者に調べてくれと頼んだのです。そんなこと本に書いていないでしょ。けれど、その根源は呼吸法をやつてないとあんな発想は出てこないと思いません。そして調べてみたら、あの当時みんな八十年以上生きていました。あの当時だったら寿命は四十歳くらいで、人生五十年と言われるのは室町時代以降です。その中で、あの人たちがみんな八十歳を超えて生きていた。呼吸をやつていた人はみんな長生きであるということの証明であると思えました。

それで間違いないなと思いましたが、本を書こうとは思っていますね。ですからこれから、町長は呼吸法のことを世の中に広めたいなと思います。自分で

百二十五歳まで生きてそれを確実に示すことができたなら、これは大したことだと思つて生きていきますので、自分の体で実験中です。

私はみかんハウスやら全部作つて持っているものから、十メートル四方の屋根の上に八十歳で上がれる人はいいますか、私は一人で上がつていって一人でやるよと笑つて言っています。これで落ちてしまつたら笑いものですね。

**曾根** 是非、落ちないでください

**町長** 私だけではないから、家内も一緒に呼吸法を必ずやります。目が覚めると今は一時間の間は私が工夫して作り上げた「就寝整体呼吸法」というのですけれど、寝ながらやれる運動、要はストレッチをやります。ですから体は柔らかいですよ。股関節広げたら真つすぐ開いてここはペタつとつきますよ。

**曾根** 負ける自信しかありませんね。

**町長** よく本を出している綺麗な女性で、きくち体操の菊池さんという方がおりますね。その人がやることくらいのことには私も





やりますから。あの人はもう初めからスポーツだとかインスタトラクターだとかそういうのが専門の方でしょうが、私は百姓です。また新たな形になると思います。

**曾根** この前の周年式典のときに、歴代理事長の方がお話ししたフレーズで、町長とよく似ているなと思う言葉に「便利な世の中になつていく」というものがありますね。美浜町さんの取り組みでも、他の町や市にはないアプリが開発されていたりしていますね。美浜町だけに限らず半田市とか他の市町でもそうなのですか、たしかに便利な世の中になつていくと思います。そうなのですけれど、大切なのは心を豊かにするほうが大切なのだと思います。周回の最後の歴代理事長さんの挨拶のときにありました。

**町長** おっしゃる通りだと思います。

**曾根** 本当にそのフレーズが印象深いのと、今お話を聞いていまして、やはり世の中自体はすごいスピードで変化していて、たしかにすごく便利になつてきていると思います。

しかし、便利になつていくからこそ、一次は心の豊かさを求めなきゃいけない

い」というフレーズに、本当に感銘を受けました。ありがとうございました。

**町長** その壁に「自然なくして人はなし 心なくして幸せはなし」と書いてある書を飾っています。これは私が書いた、私の考え方を表した書なのですけれど、呼吸法から出てきた発想なのです。

今から人工ロボットのAIだとか、コンピュータの世界になつてきて、一歩間違えると人間の文明が人類を滅ぼす時代に、そこに気付かないと大変なことになります。人間なんてあるいは動物と一緒に、自然と一体になる気持ちではないと自然界は壊れるばかりだと思いません。やはり人間は心でしょう。お金や物があつても、自分の考えが幸せだと思えるようにならなければ幸せにはなれないと思います。貧しくても幸せな人はいくらでもあります。そう思いますね。

**曾根** お金や物よりも心の持ちようであるというお考えは、素晴らしいと思います。肝に銘じて、心を豊かにしようと思います。

**町長** この間も東京で総務省の勉強会に参加して、私はつくづく思いました。これからの世の中はITの時代になりますから、行政もそういう仕組みを全部取り入れながら改革をしていきます。各担当が五人くらい説明されてきました。しかし、総務省がするように、こういうことばかり喋っていて、本当にこれで人類幸せになるのだろうかと考えました。そう思いながらここに帰ってきて、総務省の報告を皆にしましたけれど。

言うことも理解はできますが、今システムはパソコンなどが便利ということ、みんな使っているのですが、では人件費といった経費が安くなつたか疑問です。あれだけ機械が発達したならもっと少人数でやれていいと思います。

そうなる、まだ手書きで作業していた当時の方がよほど良いのではと思いません。このシステムも何百台とみんな借りていて、その借り賃だけでも毎年億単位のお金がかかっているわけです。

システム会社は儲かってしようがないと思います。ソフトバンクの孫正義社長ですと、何兆円とか稼いでいて桁外れなんじゃないかと思えます。何かの本に「文明の進歩は人類滅亡のときか」と書いてあったけれど、そうなるのも不思議ではないのかもしれないですね。

**曾根** そうなのですね。

**町長** 今いった呼吸法だとか、自然との触れ合いをさせるために農福連携、農業だとか林業しかないと考えています。ですから、そういう触れ合いのときを持てるような町にしようと呼びかけていますし、そのような美浜の町おこしを今職員に投げかけています。

**曾根** はい。

**町長** 皆さんここへ来るとね、果物狩りはあるわ、イチゴ狩りはあるわ、メロン狩りはあるわ、花は見られるわ、体験もできるわ、障害者だとかお年寄りたちとも触れ合えるということ、トキメキが出るのだとお聞きます。私もその通りだと思えます。「うわあ、花が咲いた、うわあ、実がなつた」というような自然との触れ合いがここにはありますから。

そういう町づくりがうちとして一番適地だと思います。美浜町は空港が近いし名古屋に近いし、知多郡内でも一番自然や山が多く、森林面積が広いのですよ。ですからそれを有効に活かすこと、これはもう私の始めからの夢だったのですけれど、なかなか、十六年間は推進できていませんでした。歳を食ったこともありますし、ちよっとペースを上げようと思つています。



昨日はJ Aの総会だったので、知多は全国で三番目に優秀な農協なので五百人集まりました。その総会で私に来賓挨拶をやってほしいと話がありました。

最近政府がちょうど農福連携をようやく叫び始めて、うちはもう農福連携しかないと話をしました。農業に年寄りも障害者もみんな参加することによって、まったく変わってくると思いますし、統計ではつきりとしています。男性は定年退職してしまうと、うちに入ってしまったって、テレビ観てごろごろしています。ところが女性は結構圧倒的に外に出ているいろいろな方々と交流しています。これが男性と女性の差。そこでこれからはそういう花や果物などの栽培を通じて、男性達にもそういう交わりをできるようにしていきます。

特養の中でも介護だけでなく、そういうふれあいを持たせることで、すごく変わりますし、そういう時代に入ると思っています。ですから、うちはそのモデルケースをやるうとしていきます。今やっと政

府が農福連携を進め始めていまして、はじめはよく補助金がつくから、それをいち早く取り入れて町おこしがやれたらいいなと思つて、職員には話をしながら計画をしています。お年寄りが働くことできれば、若い人たちが年金を食われなくていいのです。私の時代でしたら、グラフで書くと税収中の支出の半分近くは、厚生費と医療費と介護費です。あとの半分はこの中に教育と保育費、産業の活性化、土木建設費など、みんな入っています。こんな半分の中でこれだけ三つも四つもあるので、予算の取り合いになるから十分な予算なんか作れるわけがないと思つています。今まではそうではなく、どんなに多くても三分の一くらいが保険衛生関係の費用でした。それが今ではもう本当に半分に近いくらいになりました。それが今から団塊の世代の引退がくる一方で子どもたちが減っているという大変な時代なのです。若い人たちの年金は、全部先輩たちが消費してしまっていると思つています。今までは団塊の人たちが多く、高齢者が少ない訳ですから手厚い介護をしても金額は知れていきますけれど、今からはそんな訳にはいかないと思つています。人口比が逆になってしまつたので、そんなの目に見えています。借金も一千万円だなんて言いますが、それも毎年毎年増えているのが現状です。そういうことを考えると、年寄りは死ぬまで健康じゃないといけないし、生きていくだけで若い人たちの世話にならなくて死んでいくような、社会づくりをしていかないとどうしようもないと思つています。ですから、そういう環境を年寄りに作ってやりたいです。それを是非行政と団体が一体になって声を上げてくれると広がっていくから、JCにもお願いしますね。

曾根 かしこまりました

町長 そういうこともありまして、私は百二十五歳まで生きるのだと言つていますが、若者に迷惑を掛けることになるのなら、明日、コロっといく方が幸せなのかもしれないと思つています。

曾根 大丈夫だと思つています。

町長 今からはもう本当に少子高齢化です。日本はやっていけないから若い人たちの活力を、年寄りに与えてあげてください。

そして、皆さんにお願いしたいのが、この間半田JCのOBの人達がこれまでやった大きな功績として、新美南吉、山車まつり、それで三番目は何と言つていたか忘れてしまいましたが、四番目に音吉トライアスロンと言つていました。僕はこの音吉トライアスロンをもう一回復活したいと思つています。第一回は本当に半田JCのおかげでした。私たちが一緒に警察へも何回でも行つていただきました。そのような協力もあつてトライアスロンを実施することができました。最後には私たちが十五回目までやりました。十六回目は、町長が私から代わつたとたんに、初めて台風で中止になってしまいました。私のやつた十五回るときはどんなに前日に台風が来ても天気になつたので、よほど心がけは良かったなあと思つています。

そこで、神谷町長にも「もう一回トライアスロンを復活してほしい」と言つたのですけれど、結局実現はしませんでした。もう日にちがないから、今年は無理ですけれど、来期はもう一回JCの方の協力を得て復活をしてほしいです。愛知県のトライアスロン協会の四十周年に招待されたときに、みんな知つた人ばかり集まつてくれて、そのときはまだ町長でもないときですが、もう一回復活しましょうよ」ですとか「やろうや」と声をか

けてくれました。

そういう集まりがガイシセンターであったのです。それでまた私が町長に復活して、あなた達のようなJICの記念式典まで出させていた。そのときも、昔の一生懸命やってくれたメンバーがみんな揃っていました。これは、もう一回皆さんの力を借りて復活させなきゃいけないと思います。協会も、あのときの音吉トライアスロンの本当にいい感じは全国で有名だったと言ってくれました。選手とボランティアとがテントの中で一緒に食事をパァとやるじゃないですか。これがまあ非常にみんなとの繋がりがあって、こんなに楽しいことはないという評判でした。ですから是非皆さんにお願いしたいです。来年やれるように半田JICと一緒に考えてくれませんか。

**町長** 来年のメンバーに伝えさせていただきます。

町長の言う通り先輩方で関わったのは、阿久比の竹内町長もそうだと聞いています。他の関わった先輩方でも、やはり常にその話について良く耳にします。

**町長** 今でも、その当時のメンバー達と顔を合わせると、ああ、と言って声を掛け合いますしね、本当に懐かしいです。

彼等のおかげで開催できたと思っております。はじめはJICの人々に職員が教えられて動いていました。当時の職員では、JICのようにパキパキとやれないのですよ。それでまあ第一回目はJIC仕込まれました。グループ毎に分かれての打ち合わせや協議をしますと、JICはハイハイと返事してやるのですけれど、職員はノロノロとしていました。しかし、あれから職員が経験をしたからなのか、担当ごとの仕事に対して責任をもって動くようになりまし。ですから、このチームワークというのがすごく良くなったと思いま

す。あれは本当にJICさんのおかげ。是非また一緒に力を貸してください。これは町主催でやるけれども、JICの人たちも入ってもらって、後援でもなんでもいいから、やっていただけるとありがたいです。

**曾根** そういうお声を頂けると本当にうれいのですし、JICをやっていることに誇りを持って活動しろと歴代の先輩方とか理事長さんに言われているので、話を聞くときさらにそれが強くなりますね。実は次の質問が、私たち半田青年会議所に求めるものに何がありますか、ということでしたので、先におっしゃっていただいてありがたいです。

**町長** これがそのときの資料で、まだ保存していますので、見てください。

本当に当初は県警・警察庁が絶対に道路を使ってやらせない、そういう方針を出したのです。ですから当時は伊良湖と長良川しかやっていませんでした。絶対にここでやらせないと行っていたのを粘り強く交渉して実施することができました。それでその後事故もなく運営できましたし、半田市をあげて応援に来てくれ



ていましたね。

**曾根** では、道路を使って実施するということは、画期的だったのですね。また、先程の資料を見ますと、すごい予算金額ですね。

**町長** 本当にそう思います。これは一人一万五、六千円会費を出しますからね。

**曾根** 最終的な予算は今の私たちの活動費とは尋常じゃないくらい多額ですね。

それこそ阿久比の町長さんとお会いしたときも、やはりこういう時代の物の実物を見せていただいています。これは対談をさせて頂く時間に付いてきたメンバーの特権だと思っていて、貴重な体験をさせていただいていると思います。

やはり地域にすごくインパクトのあるものをやってきたというのがJICの誇りだと思えます。

現役メンバーはそこを分かっていたうえで、それも引き継ぐのですけれど、やはりその時代に合った、私たちができる更により良いインパクトのある事業ができる、それが一年二年と続けられるものができる、それがさらに自信もつくと思えます。

ありがとうございます。

**町長** 新美南吉だとか、山車まつりなんていうのは全国規模の活動になったことはJICのおかげだと思います。

**曾根** 今年山車まつりは、短編のドラマ化の計画があります。その際にもドラマ化するというお話を頂いて、現役のメンバーにも協力の依頼がありました。

やってきましたことは分かっています、携

わることとはあっても、本心を先輩方から聞くときはあまり無いものですから、それもすごく良い機会を頂けるなと思います。今日のこのトライアスロンも、聞いたことがあるというメンバーは何人かいます。ただ奥の奥まで、台風が来たことも含めて、役所の方たちを動かしていたことが凄いことだと思えますし、メンバーがその話を聞いて何か感じてくれたらいいなと、すごく思っています。

**町長** JICが音吉のこともやってくれたいと思います。シンガポールやアメリカへ一緒に行ってもらいたいですね。

**曾根** シンガポールですか。

**町長** これがそのときの写真でこちらがアメリカへ首長達と一緒に、音吉の歴史



を訪ねて行ったときの写真です。  
**曾根** この写真に写っているのは、「知多から世界へ」さんですか。

「知多から世界へ」さんは今、アメリカとイギリスでの活動をしているようですが、先日にご縁がありまして磯貝さんと井上さんにお世話になりました。

**町長** 磯貝さんとはこの会に出会ったのですけれどね。初めて知多の首長達がほとんど一緒にアメリカに行ってくれたときの記録です。

**曾根** 町長、今のほうがお元気に見えますね。

**町長** 向こうでミュージカルをやるのです。ここが音吉の漂着地点。音吉達が一年六ヶ月漂流してたどり着いたインディアンの領地です。機会があればJICからも何人か一緒に行っていたら嬉しいですね。

**曾根** 「知多から世界へ」の企画で、八月にイギリスへ数人子どもさんたちが向かうのですよ。イギリス行きのお話をさせていただきます。磯谷さんと井上さんが、子供たちにSDGsをどのようにして分かってもらうのか、よかつたらJICさんがやってくれないかというお声掛けをいただきました。そのときにもイギリスと一緒に言われておりませんが、残念ながら今期はもうちよつと事業が入っていて日程が合わず無理ですとお断りしたのです。

別にこれで終わりではなくて、次年度以降にご縁をお願いしますと言っていたでいます。磯貝さんだけではなく、井上さんもいるイギリス行こうと言っておられます。もう行けるのでしたら行きたいのですけれど。でもほんとに子ども達も楽しそうにしています。機会をいただきまして、SDGsのことをやら

していただいて、そのときに子供と触れ合ったのですけれど、やはり海外のホームステイに行くという心意気を含めて、子ども達も、一生懸命なのです。ですからそんなところに携わらせていただくのがいいのかなと考えていましたが、ちよつと日程が合わないものですから、申し訳ありませんとお詫びをしました。

**町長** 私達は子どもたち小学六年生四十五人と、それから中学生、それから日本福祉大学の高校生、和太鼓部の方々も一緒に連れていったのです。ロンドンとバンカーなどで和太鼓とミュージカルをやりながらイギリスを周りました。ジャパン二〇〇一年の企画でしたが、あのときは議会に子供たちが好きな海外に連れていくのは難しいと反対されました。それなら、「親がどうしても行かせたいと言っているのですが、親が同伴してでも連れて行きたいということならば、連れて行っても良いですか」と議会に聞いたら、「そのときは仕方ないね」と回答をいただきました。そこで、親御さんに聞いたらみんな付いてきてくれるのご意見でしたので、実現することができました。

**曾根** もちろんそういう機会があると行かせたいですね。

**町長** そうなのですよ。

**曾根** 必死ですよ、それに値段がかかっ

たとしても行かせたいなと思います。

**町長** 初めてですよ、こんなにたくさんの子ども達を連れて、親も一緒に参加してくれて、二百人を超す人たちが。そして、ロンドンの一番良い劇場で公演をやつて、和太鼓をやつたらね、観客の反応がね、ミュージカルは英語がちよつとで、日本語ばかりですからわからないけれども、和太鼓は言葉がわからない、そう言っていたかったです。そのときに、音楽というものはそういう良いところがあ



と思っ  
ていま  
す。

**曾根** 最初に質問させていた  
活  
力ある町づくりというの  
は、知って  
もら  
うこと  
と、その  
地域の  
魅力を  
どうや  
って  
広報し  
ていく  
かとい  
うこと  
が、凄  
く重要  
だと思  
うので  
す。そ  
の部分  
では私  
は大河  
ドラマ  
もそう  
ですけ  
れど、  
一瞬に  
して凄  
い反響  
になる  
ではな  
いので  
すか。

**町長** 若い人たちのや  
つてい  
るネッ  
トの社  
会とか  
も、こ  
ういう  
ことは  
早いで  
すか  
らね。

**曾根** それは早い  
とは思  
います  
。です  
ので、  
今日こ  
こに來  
させて  
いただ  
いて、  
掲載す  
る記事  
では音  
吉さん  
のこと  
を書こ  
うと思  
います  
。

**町長** いや、嬉しいな。

**曾根** SNSでは発信  
した記  
事に対  
して、  
読んで  
いただ  
いてい  
る数が  
すぐ分  
かるの  
です。  
そうし  
ますと  
、現在  
半田青  
年会議  
所のFa  
cebo  
okは  
発信す  
ること  
で毎回  
五百人  
近くの人  
に見て  
いただ  
いてい  
ます。  
やはり  
発信力  
は大事  
だなど  
いうこ  
とはす  
ごく感  
じまし  
た。あ  
りがと  
うござ  
います  
。

申し訳  
ありません  
、ちょ  
つと長  
くなっ  
てしま  
いまし  
たので  
すけれ  
ど、私  
達の今  
年の取  
り組み  
として  
一点紹  
介をさ  
せてい  
ただけ  
です。  
先程「  
知多か  
ら世界  
へ」さ  
んとい  
う縁も  
いただ  
いたの  
も、こ  
の取り  
組みが  
きつかけ  
でした  
。その  
取り組  
みはSD  
Gsとい  
う国連  
が掲げ  
た、世  
界の目  
標十七  
個の推  
進です  
。この  
十七個  
の目標  
一つひ  
とつに  
細かく  
目標値  
を設定  
してい  
ます。  
日本政  
府も現  
在この  
SDGs  
を、地  
域にそ  
して世  
界に推  
進して  
います  
。私  
たちは  
この地  
域の青  
年会議  
所とし  
て、こ  
の地域  
に広め  
ようとい  
う活動  
をして  
いま  
す。  
SDGs  
とは何  
なのか  
と言わ  
れると  
、凄く  
難しく  
なると思  
います  
。です  
から、

各市町  
の首長  
様にお  
話をさ  
せてい  
ただい  
たとき  
に、こ  
ういう  
もので  
すとい  
う概要  
につい  
て説明  
をさせ  
ていただ  
いてい  
ます。  
このマ  
ークを  
目にする  
機会が  
あった  
ときに  
、JCさ  
んが進  
めてい  
たもの  
だと  
気づい  
ていただ  
けたら  
ありが  
たいで  
す。

**町長** そうい  
うこと  
なので  
すね。

**曾根** はいそ  
うです  
。  
そして  
、私達  
もまだ  
まだ一  
緒に勉  
強して  
いる最  
中なの  
です。  
今回、  
こよう  
いう資  
料を準  
備させ  
ていただ  
きまし  
た。先  
程対  
談前に  
話のあ  
りまし  
た公開  
討論会  
ですと  
か、町  
の取り  
組みや  
、各会  
社の取  
り組み  
なども  
そうな  
のです  
けれど  
、実は  
一七個  
の目標  
にあて  
はめる  
ことが  
できま  
す。

例えば  
、公開  
討論会  
をする  
ことで  
一七の  
目標の  
うちの  
四番と  
六番と  
七番に  
該当し  
ていま  
して、  
この取  
り組み  
をもう  
既にや  
つてい  
るとい  
う形に  
なりま  
す。一  
七の目  
標の下  
には更  
に奥深  
く細か  
い目標  
値があ  
りまし  
て、そ  
れにあ  
てはま  
るとい  
うもの  
になり  
ます。  
総合し  
てこの  
番号に  
なるこ  
とを  
表示の  
仕方を  
します  
。

それ  
では美  
浜町さ  
んの取  
り組み  
で何が  
当ては  
まるの  
かとい  
います  
と、第  
五次総  
合計画  
の四の  
五のと  
ころに  
「美浜  
町健や  
か親子  
二一計  
画」と  
いうの  
があり  
まし  
た。こ  
の計画  
は目標  
値を数  
値化し  
ている  
ところ  
がとて  
も素晴  
らしい  
と思  
います  
が、そ  
の取組  
にSDGs  
を当て  
はめると  
十一番  
の「住  
み続け  
られる  
まちづ  
くりを  
」とい  
うのが  
当ては  
まると思  
います  
。私達  
もSDGs  
のすべ  
てを分  
かっ  
てい  
る訳で  
はない  
のです  
が、様  
々な活  
動に対  
してこ  
のSDGs  
の目標  
番号を  
割り振  
って取  
り組  
んでい  
けば、  
自分の  
周りか  
ら良  
くなっ  
てい  
って、  
最終的  
には世  
界が良  
い方向  
に行  
くのは  
ないか  
という  
取り組  
みにな  
りま  
す。一  
人ひと  
りがで  
きれば  
、更に  
町が良  
くなる  
、社会  
が良  
くなる  
。

周りが  
良くな  
ってい  
くのは  
ないか  
とい  
うもの  
になり  
ます。

この先  
SDGsの  
目標値  
を置いて  
いろ  
んな取  
り組み  
をされ  
ていく  
という  
ところ  
で、半  
田青年  
会議所  
としての  
取り組  
みを、  
町長に  
お話を  
させて  
いただ  
きまし  
た。そ  
して、  
SDGs  
を推進  
する形  
として  
カー  
ドゲー  
ムを用  
いてい  
ろんな  
方々に  
推進さ  
せてい  
ただい  
ていま  
す。聞  
くだけ  
だとわ  
からない  
もので  
すから  
、SDGs  
とはこ  
んな感  
じのも  
のなの  
だよと  
言うの  
をゲー  
ムの中  
で体感  
できる  
ものな  
って  
いま  
す。先  
日美浜  
の日本  
福祉大  
学の学  
生さん  
に対  
しても  
このカ  
ードゲ  
ムを用  
いて推  
進させ  
ていただ  
きまし  
た。彼  
らは介  
護福祉  
士の勉  
強をし  
ている  
学生達  
だったので  
すが、  
大学の  
講座の  
中にも  
この言  
葉が時  
々出て  
くると  
言うこ  
とで、  
どんな  
事な



のというのを知りたいということでお声がけを頂きました。行政や企業でもこのゲームを通してSDGsを知るということが増えてきていますので、そんなときに半田JCにお声掛けをいただければ、私達が推進という形で職員の皆様にもさせていただければと思っております。

町長 なるほど、機会があればお願いをするかもしれませんね。先程話題のありました、目標値を数値化できたのは大学のお陰なのです。

曾根 そうなのです。しっかりと数値化されているのを感じました。

町長 第五次のところからは先生が熱心です。SDGsは二〇一五年から二〇三〇年までの目標にはなりますけれど、今年も来年ももう少しこの取組を使いながら、社会をより良くしていくという目標を掲げて活動をして行きますのでよろしくお願い致します。

町長 こんな風に取り上げていただければいいですね。我々もしっかりとやらなければいけませんね。

曾根 非常に長くなっちゃいました。が、お忙しい中ご対応いただきありがとうございます。先程の「なくして」という言葉をお聞きしたときに思ったことなのですが、私がJC活動をしっかりとやろうと思ったきっかけに、「犠牲なくして成長はなし」と言う言葉をもらってしたので。初めて町長のメッセージを読んだときに、同じ意味合いを感じると思いました。「なくして」という言葉からは、物事には前提があって、その想いを持って活動をしなくてはいけないということ。心華を持って、呼吸を整えて、みんなで活動できれば良いなと思いました。本日はありがとうございました。

町長 いつでも話に来てください。何でも話したらこちらから話をしに行きます。曾根 はい。楽しみにしております。長時間に渡り大変お世話になりました。ありがとうございます。

## 齋藤 宏一 様

昭和14年3月10日生まれ。

愛知県立半田農業高等学校卒業。

呼吸法による整体とストレッチを実践し

「125歳まで現役」を目指しています。

平成31年4月26日より通算5期目の

美浜町長を務められています。

